ひろしま国際平和文化祭
HIROSHIMA FESTIVAL

ひろしま国際平和文化祭　街かどフェスティバル、ひろしま宵めぐり

萩原麻未 クリスマスコンサート

～被爆ピアノが奏でる平和のメッセージ～



(c) Akira Muto

令和8年12月23日（水）
18時～19時（17時30分開場）

旧日本銀行広島支店
（広島市中区袋町5番21号）

入場無料

※会場の収容人数には限りがあるため、
先着順でのご入場とし、定員に達した場合は
入場をお断りすることがあります。

演奏曲名

演奏順や曲目は変更することがあります。



明子さんの被爆ピアノ

＊ バッハ＝グノー：アヴェマリア
＊ ショパン：ノクターン 第2番 op.9-2
＊ ショパン：ノクターン 第20番 遺作
＊ ショパン：バラード 第1番 ト短調 op.23
＊ ショパン：ワルツ 第6番 変ニ長調「子犬のワルツ」op.64-1
＊ ショパン：ワルツ 第1番 変ホ長調「華麗なる大円舞曲」op.18
＊ シューマン：子供の情景 op. 15 より 第7曲「トロイメライ」
＊ リスト：愛の夢
＊ リスト：ラ・カンパネラ
＊ アーディング・バーリン：ホワイトクリスマス

主催：ひろしま国際平和文化祭実行委員会、広島市



(c) Marco Borggreve

萩原 麻未（ピアノ）
Mami Hagiwara, Piano

広島県出身。2010年第65回ジュネーヴ国際コンクール〈ピアノ部門〉において、日本人として初めて優勝。年によって1位を出さないこの伝統あるコンクールでの8年ぶりの優勝となった。幼少期より国内外のコンクールに入賞。第27回パルマドーロ国際コンクールにて史上最年少の13歳で第1位。広島音楽高等学校を卒業後、パリ国立高等音楽院に審査員満場一致で合格。文化庁海外新進芸術家派遣員、ローム ミュージック アカデミー奨学生としてフランスに留学。パリ国立高等音楽院及び同音楽院修士課程、パリ地方音楽院室内楽科、モーツァルテウム音楽院卒業。日本、フランス、スイス、ドイツ、イタリア、ベネズエラ、ベトナムなどでソリスト、室内楽奏者として演奏活動を行い、これまでに、N響、東響、都響、日フィル、新日フィル、東フィル、大阪フィル、関西フィル、札響、仙フィル、神奈フィル、広響、九響等の国内主要オーケストラのほか、パスカル・ロフェ指揮／スイス・ロマンド管、フランス国立ロワール管、フランソワ＝グザヴィエ・ロト指揮／南西ドイツ放送響、ジャン＝ジャック・カントロフ指揮／シンフォニアヴァルソヴィア、アレクサンドル・スラドコフスキー指揮／タタルスタン響などとも共演を重ねているほか、ラ・ロック・ダンテロン等の様々な音楽祭にも招かれている。室内楽奏者としては、夫でヴァイオリニストの成田達輝を始め、レオニダス・カヴァコス、テディ・パパヴラミ、神尾真由子、竹澤恭子、小林美恵、横坂源、カミーユ・トマ各氏と共演を重ね、チェリストの堤剛氏とは2枚のアルバムをリリース、各地で好評を得ている。広島市民賞のほか、第13回ホテルオークラ音楽賞、第22回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、第22回出光音楽賞、文化庁長官表彰（国際芸術部門）、第46回東燃ゼネラル音楽賞（奨励賞）など多数受賞。メディアでは「題名のない音楽会」「ららら クラシック」「クラシック倶楽部」「名曲アルバム」等のテレビ、ラジオ番組にも多数出演。これまでに高松和、田中美保子、小嶋素子、クラウディオ・ソアレス、ジャック・ルヴィエ、プリスカ・ブノワ各氏に、室内楽をイタマール・ゴラン、エリック・ル・サージュ各氏に師事。現在東京藝術大学准教授として後進の指導にも力を注いでいる。



明子さんの被爆ピアノ

このピアノは、1926年アメリカBaldwin社で製造され、同年ロサンゼルスで生まれた河本明子さんが愛奏しました。1933年（昭和８年）河本一家は広島に移り住み、ピアノも三滝の自宅に置かれました。1945年（昭和20年）8月6日原爆投下。明子さんは学徒動員中に被爆し、翌7日夕方急性放射線障害で19歳の生涯を閉じました。ピアノも爆風により多くのガラス片が刺さり、その後弾かれることもありませんでした。

2005年（平成17年）8月、調律師坂井原浩氏の困難な修復作業を経て、ピアノはかつての音を蘇らせ、8月3日の「被爆60周年祈念被爆ピアノ・チャリティーコンサート」で披露されました。以来ピアノは、あの日の出来事を現在に伝える貴重な「被爆遺品」として平和の調べを奏で続けています。

現在、「明子さんのピアノ」は広島市平和記念公園内レストハウス2階に常設展示されています。

（一般社団法人　HOPEプロジェクト）